№ 13
昭和36年3月1日
隔月発行
発行所
福岡県田川郡方城町
発行人
松尾勲
印刷所
冷牟田印刷合資会社

住民登録人口

昭和36年1月末現在

13,551 ｛ 男 6,315 / 女 7,236

二月二十四日午前九時半より研修所に於いて本年度社会教育諸行事について経過報告及び中途について審議致しました。

公民館運営審議委員

旧　新

仲村　友市　本藤　岩夫

中山市太郎（死亡）欠員

公民分館長

分館名　旧　新

広谷　長谷川　強　高津　守

山手　松熊　政夫　水谷政太郎

倉石坑　栗田迅吾（死）高野真澄

上弁城　永末　勇常　永末　義雄

浄万寺　中山　英雄　中山　照見

四区　達　兼夫　大古場直行

分館行事は分類別に総括的に報道します。

○**公民館研究課題**

1青少年の育成

2食生活の改善

3新生活運動の推進

公民分館活動は各分館に於いて当分館区民話合によって自主的に行事をやっていますので本館より各分館毎に計画され実施しています。どの分館も分館の方々の御理解と御協力により大変成果を挙げています。町の目標である時間励行の徹底しないことは残念であります。各分館とも時間厳守の励行を御願いします。

第三回公民館運営審議委員会

○**婦人会関係**

農繁期を除く月は毎月理事会並びに支部長会議を開きその月の行事を話合によって実施しています。決して上層幹部一部の意見でなく全員の意見によって諸行事を推進しますのでスムースにしかも活発に行事が行われます。町内各団体中一番活発な運動が展開されています婦人会のように活発な団体があることは町行事を進めて行く上に大変好都合で町発展のため誠によろこばしいことであります。自己研修に社会奉仕活動に婦人会の本領を遺憾なく発揮せられんことを期待して止みません。

○**青年団関係**

青年団活動は一般に低調であります。併し本町のみでなく全県的の傾向であります。併しそれには色々な問題があるので止むを得ないかと思考されますが、青年の個人活動は郡内に於ても優秀な成績を挙げています。

○**少年団関係**

少年関係は子供会がほとんど指導にあたっています。子供会運営上一番大切なことは指導者を得ることであります。本町には幸子供育成会が結成されていますので指導者育成上よろこばしいことであります。育成会に於ては年次計画を樹て着々之が実施され成果を挙げています。育成会員の子供に対する愛情と理事になった責任感は毎月の理事会各講習会にあらわれ感謝に堪えません。

夏休み中の堤に於ける水泳禁止には理事各位の色々の意見がありましたが、子供愛の結果弁城地区に於てはプール問題が提唱されています。

弁城区民の御理解と御協力を御願い申します。

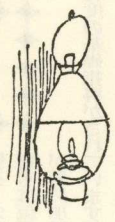
○**視聴覚関係**

従来の全町巡回映画を止め辟地映画を実施しています。

併し各種団体の行事には要請があれば何時でも参りますので御利用下さい。辟地映画実施分館は協和会館を中心に二粁を半径として画いた以外の地で長浦、広谷、上弁城、新町、浄万寺分館であります。幻灯機、スライドは本館に用意しています。御使用下さい。幻灯は大変どの分館も活用しています。

○**社会関係**

社会行事は全部予定通り実施しました。特に一月実施の成人式は例年より来賓が大変多かった（三七人）のであります。これは成人の門出を祝福し社会人全員の手で成人を育てんとするあらわれで感激性の強い彼等は成人になった自覚と責任を感じたことと存じます。



見をとさないよう

固定資産課税台帳の縦覧期間三月一日から三月二十日迄（二十日間）但し日曜日除く毎日午前八時三十分から午後四時三十分まで（土曜日は十二時まで）

税務課

有線放送竣工式並びに農協農共済各一億貯蓄完成祝賀式挙行

農協組合長　仲村治一郎

仲村組合長

町民待望の有線放送が農協役員の努力と町民の御理解によって完成致しました。

炭坑の余命も迫り新農業経営に切替えなければならない重大時期に有線放送が完成したことは町将来のため御同慶に堪えません。

尚農協並びに農協済各一億の貯蓄を完遂したことは両会の基盤を愈々かため両会の名誉これに過ぐることはありません。

役員各位のなみなみならぬ努力と町民各位の御協力に対し深甚の敬意と感謝を捧げます。

一億の貯蓄が出来てみれば簡単のように思われますが、組合役員の涙ぐましい苦心がこの陰にひそんでいることを思うとき感慨無量という辞の他ありません。特に信用組合破産当時これが再興に努力された香月春太郎翁の苦心談は列席者の方々を感激させました。

新入学児の父兄の皆さんへ

小学一年への入学児を持つ家では入学を前にあれもこれもと苦心があることと思います。入学児の多くは幼稚園や保育園で一応集団生活を訓練されており、又名前の読み書きや数では十までの合成分解が出来ればよいのでこの面の心配はないと思います。

大切なことは

❶交通のしつけです。幼稚園とちがって小学校では先生の送り迎えも出来かねます。四、五月は子供の事故の多い時です。母親が交通規則をよく勉強し二、三度子供をつれて安全教育を実地に教えておきたいものです

❷歯みがきのしつけです。虫歯が出来るのは食後の数十分といいます。特に夜の歯みがきは虫歯予防に大切です。子供の虫歯統計は二才で六割五才で九割となっています。特に六才はキュウ歯が生える時で歯列顔かたちにさえ関係深い大切な時です。

❸下校の途中知らない人に話しかけられても相手にならず寄り道をせず、家に帰り「ただ今」の習慣をつけること。

農村に於ける恋愛と結婚

長谷川秋美（前号よりつづく）

私達の恋愛に対し親が心配することは色々あると思うのです。そこには旧い日本の家族制度の中で教育されて来た人達の現在の青年に対する偏見も含まれているかも知れません。ですから吾々の自由主義に基く恋愛と結婚を主張し可能ならしむる為には吾々自身沈着な態度をもって責任ある行為をなすと共に素直に話合の出来る家庭の空気を作ることであります。

私が青年団に入団したのは若干十七才でありました。その当時は若さから結婚を前提としない恋愛をしたいと思っておりました。年令的にも一般的な考えとして結婚には早かったし、家庭的にもそれほど差迫った事情はなかったのであります。だから若いうちにガールフレンドの二、三人も持って自由ほんぼうな恋愛を楽しみたいと思い、又こと数年間をその為に過して参りました。しかし私にはその様な恋愛がもしも肉体関係まで進んだとき、家庭的に又は年令的に結婚出来る状態まで行けば良いが、良識ある青年の行動として正しいものかどうかは判断しかねます。それは一時的な遊戯的な唯人間の本能を満足させる為の恋愛にしか過ぎないと思うのです。世の親達が青年の行動について心配し批判するのも子の親として、吾子を正しい道に進ませんが為であると私は思うのです。

先に述べました様に吾子に対して、まだまだ因習による封建的な考えから子供の自由意志をそむかせるような感もないではないが、親として子の幸福を感じない者は一人もないと信じます。ともあれ見合にしろ恋愛であったにしろ一合によるか恋愛によるかいずれかの方法をとらなければなりません幸い私の所属している青年団内に私に最適の相手を探すことが出来ました。範囲の狭いことですから相手の性格を充分研究することが出来ました。併しこれも普通世間一般にいわれる一目ぼれなどといった場合、最初の印象のみを頼りにして所謂「あばたもえくぼ」的な相手の長所短所を見きわめる事の出来ない片手落ちな恋愛になりかねない危惧をもっています。併し、私日ごろ考えました。恋愛更に進んで結婚となる場合、あくまでも相手の性格なりを充分認識して、自分の性格とマッチした人間か或いは、農村の極端にいえば恋愛結婚に理解の少ない農村に嫁いで自分の家庭に或る程度マッチ出来るような人であるかということを充分考慮に入れて恋愛に進みました。私は先に述べました様な現在自分の置かれている境遇から考えて自分の進んで来た道が一応一番正しいものと信じます。それには恋愛に於てたとえ家族の者と適応しない面があっても自分が好きであれば互に愛し信頼し合っていればただそれだけでよいではないかと他の事（家族など）どうにでもなるじゃないかといった意見を、持たれた方もおられることと思います。併し私は真の恋愛とは考えられないと思うのです。

若き故にただ当面の相手のみを意識し結婚にまで進めば必ず夢の破れ去ることは信じて疑いません。恋愛している内は唯二人だけの世界です。生活は各々の家庭で営み社会的にどのように生計をたてれば良いかということは考えていたとしてもごく身近かな問題のみと思うのです。結婚して始めて二人で自分達の考えによって生活を営み社会に適合していかなければなりません。家族がいれば二人だけの世界ではなくなるわけです。そこに甘かった夢もにがい現実と変ります。そのとき自分の性格なり又家庭的にマッチ出来る人であればそれだけの幅を持つ故に、その変化に適合出来ると思うのです。

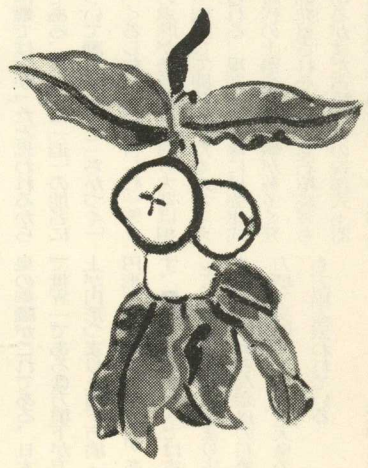
以上私の所信とするところを述べましたが、この問題は人の顔の異う様に考えも異うと思います。私が良いと信じていることでも社会環境の異っている人からみれば、大きな過ちであると思われる面があるかも知れません。私も一青年として恋愛による結婚を慾する以上そのような意見も充分述べて見たいと思うのです。私の愚見に対し青年諸君の御一考を願うものであります。

冬の夜話（前号続き）

山東匪賊譚

匪首二皮臉（アルピーレン）の巻

門屋利続



把握こそ特務機関員に与えられた唯一の条件である。

さて、私は、この点では実に恵まれていた。先ずこの物語りに這入る前に、宣撫太郎のことを話さねばならない。宣撫太郎こと楊少年のことは昭和十四年の春、日本の全国の新聞に報道されて、私の所へ、日本の各地から慰問状や慰問品が届いて来た。太郎は河南省開封中学在学中、シナ事変が勃発。蔣系直轄の孫連仲軍に、少年兵として強制徴募され、最初は兵器修理班に、後で、孫軍が除州大会戦で、日本軍から撃滅せられてから、游撃隊に編入されていたのを、渡辺部隊に捕促され、太郎は自から進んで投降、渡辺部隊の将兵から非常に可愛いがられていたのである。

当時私は河南省焦作の旅団本部附として、紅槍会匪の招致工作に従事したが、昭和十四年ソ満国境の雲行が悪く、渡辺部隊が突然移動を命ぜられたので、太郎の希望もあり、渡辺部隊長から楊少年を引継いで使用することになった。この時の引継ぎとして、モーゼル拳銃一、同弾薬二〇〇発、シナ馬一、ラバー一、騎兵銃一、同弾薬二〇〇発が太郎と共に、同部隊から、私に渡されて来た。これを見ても、渡辺部隊の将兵から、どんなに楊少年が可愛いがられていたかは、想像がつく。

太郎は当時十七才。非常に頭の冴えた、感の鋭い少年で、銃の操作が非常に上手な許りか、兵器の修理が巧くて、その上、中国軍隊の用兵のことを実に良く知っていたので、日本軍新兵一ケ小隊よりこの少年一人連れている方が、効果的であった。事実、戦地八年間、太郎は全く、私の手足であり耳目の役目を完全に果してくれた。私の数々の殊勲の大半は太郎のお蔭と言っても過言でない。渡辺部隊移動の際、一部の将兵の内地帰還が、予想されていた為に、部隊長を始め、各将兵の私物や、慰問品が、戦地に残る私や、太郎に、実は山の様に、前記の兵器や馬の外に贈られた。今の金に直したならば、恐らく、数十万円は下らなかったろう。

太郎は影が形に添う如く、焦作から新郷、北京から山東へと、私を追って、やって来られたのも、太郎が私から離れられない気持もあったが、無駄費いせず、この時に貰った、金品を大切に保管して、旅費に当てることができたからだと思う。

香月助役任期満了

香月助役は昭和三十一年十二月本町助役として就任されました。就任以来倉石町長を助け、精魂を打ち込んで町政に尽瘁されました。彼の任期中、町長南米移民監督として赴かれ、その間町長代理の重責を負い大任を無事果され、植林、弁城ダム建設、坑命延長今後の新農業経営など町発展のため尽したる功績は枚挙に暇ありません。この多大なる業績に対し深甚の敬意と感謝を捧げます。退職後は政界を去り、悠々自適、自然に親しみ家庭にて余生を楽しむ由。

香月助役退職の挨拶

倉石町長補佐役として昭和三十一年十二月就任致しましたが、浅学非才なる故を以て町民の期待にそい得ず去ることは誠に申し訳けなく思っています。在任中大過なく大任を果し得たことは、これ全く町民皆さんの御支援の賜と感謝致します。

御別れに望んで方城町の発展と、町民皆さんの御健康と御多幸をお祈りし、御別れの御挨拶と致します。

生活に夢を

教育長　永末勇常

木の芽がふくらんできた。陽光が、まぎれのない春のものとなった。高校の卒業式がさきがけて、この月中には、どの学校も先を競うように卒業式となる。その次は入学式だ。

三月、四月の世の中は教育のことでぬりつぶされる感がする。そして、この時期ほど夢を楽しむときはあるまい。世の中に善意と活気を吹き込まれるのも、この時ではあるまいか。

夢を持つ人の目は輝きをもつ。子供に夢を持たせたい。けれども、夢が重荷になってはいけない。夢は楽しいものであり生活の力の泉でありたいもの。与えられた夢でなく、自分の胸に育った夢、例えば、木の芽がふくらむように、胸にめぐり育つ夢がほしい。子供には、子供なりに

子供の胸の中に夢が育つように、親や、大人や、教師が、子供の生活の傾向を育ててやりたい。

小さい子供ほど、夢はあぶくのように生れては消え、消えては生れ断続の時間が短い。自然にその断続の時間は永くなってくる。瞬間の夢、一時の夢、一日の夢、一月の夢、一年の夢、五年の夢、十年の夢、半生の夢、一生の夢。

「少年よ、大志を抱け」の訓えは、このような過程の畑の中に植え付けられ、伸びてゆく。

素直に、自然に。

子供に夢を育てたい。

故中山市太郎氏の香典返し

このたび中山義光氏より、厳父故中山市太郎氏の香典返しとして当町社会福祉協議会費に金一封の御寄贈を賜わりました。ここにその逝去をいたみ、謹んで哀悼の意を表します。

寄贈

故高津シヅ子殿の香典返し

この度、金田町教育長高津茂氏より亡高津シヅコ殿の香典返しとして、当町学童厚生会に高額の御寄贈を賜わりました。

茲にその逝去を悼み、謹んで哀悼の意を表しますと共に、御香典の御寄贈を賜わりました皆様に対し、御通知かたがた厚く御礼申します。

故岩猿チヨノ氏の香典返し

このたび犬星の岩猿洋介氏より故母チヨノ氏の香典返しとして犬星公民分館へ金一封の御寄贈を賜わりました。ここにその逝去をいたみ、謹んで哀悼の意を表します。

犬星公民館長　森　茂

津屋崎公民館方城公民館視察

二月十七日津屋崎公民館より本町公民館の本館並びに分館の施設運営、本館と分館の連系について視察を申し込まれましたので町内三十二分館の代表として迫浄万寺見六の各分館を視察致しました。各分館に於ては前日より分館の清掃並びに環境整理に全区民挙げて努力下され各分館の特色ある活動を発表し視察員の方々に多大の感銘を与え方城公民館活動状況を遺憾なく発揮したことは社会教育の為御同慶に堪えません。茲に各分館各位の努力に対し深甚の敬意を表します。

三分館の御協力を感謝します

公民館長　倉石文夫

三分館の施設運営の概要

迫分館
- 建築月日昭和二十六年三月
- 建坪　四二坪
- 工費　五六万
- 分館区域戸数五〇戸
- 施設結婚衣裳及冠婚葬祭用具一式
- 放送施設
- 幻灯機
- 分館長　香月美佐男
- 婦人会支部長　立花シゲ子
- 子供会理事　大庭達城
- 青年団支部長　稲富保男
- 農業改良普及員　長尾智代喜
- 生活改善普及員　宮本徳子
- 生花講師（田川東校教諭）　香月満子

浄万寺分館
- 建築年月日昭和二十七年三月
- 建坪　四六坪
- 工費　五六万
- 分館区域戸数四二戸
- 施設
- 共同墓地
- 昭和三十一年八月設置
- 工費　百五十万
- 共同炊事場
- 昭和三十三年十一月設置
- 工費　五〇万
- 分館長　中山照美
- 婦人会支部長　松岡テルミ
- 子供会理事　葛原藤夫
- 青年団支部長　手塚春夫
- 農業改良普及員　長尾智代喜
- 生活改善普及員　宮本徳子

見六公民分館
- 建築月日昭和二十七年三月
- 建坪　二三坪
- 工費　六〇万
- 分館区域戸数三三戸
- 施設
- 共同作業場
- 昭和三十四年十月設置
- 建坪　一五坪
- 工費　三〇万七千
- 籾スリ機、精米機、電動機備付
- パン焼釜
- 昭和三十五年七月設置
- 工費　三万
- 分館長　高津順
- 婦人会支部長　香月セツ
- 子供会理事　吉田フジ子
- 青年団支部長　永末次男
- 農業改良普及員　長尾智代喜
- 生活改善普及員　宮本徳子

佐賀刑務所及福岡少年院訪問

更生保護婦人会長　田中ハルヱ

佐賀女刑務所並びに福岡少年院訪問記

私達の周囲から一人の犯罪者も出さないように母性愛をもって子供をまもり健全な家庭を築きよりよく社会を浄化するため更生保護婦人会が結成されています。

方城町に於てはこの目的を達する意味において一月二十日佐賀女刑務所並びに福岡少年鑑別所少年院を訪問しました。

女刑務所は収容人員二〇八名之に従事する者所長以下五〇名仕事は洋裁、手芸、提灯、製造藁細工、養豚、養鶏、製茶、未教育者は仮名が読め加減程度の基礎指導がされています。

生れた赤ちゃんは満一才になるまで乳母がついて育てゝいます。まことに行届いた施設です。

所長の言によりますと大部分の犯罪の原因は男にあるむしろ罪を犯させた男を収容すべきだとのことで真面目に働いている姿を見て一日も早く更生して立派な人間になって貰いたいと念願しつゝ刑務所を出一路福岡少年鑑別所に着きました。建物は大変暗く日本で一番貧弱な鑑別所だそうです。

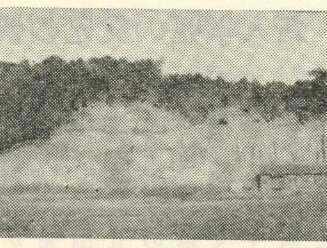
家庭裁判所より送られた犯人の犯罪の原因を鑑別し其の結果家庭に帰す者少年院に送る者等を区別する此の期間は普通二週間から四週間を要するそうです。

少年鑑別所に別れをつげ貸切バスで三十分を経て少年院に到着大変閑静な地で施設は女刑務所に比較すれば殺風景で少年収容所としてはやむを得いかと思われましたが、指導の方法については科学的に研究され指導者の苦心の程が伺がわれました。説明によりますと犯罪の原因は色々ありますが、其の重なものは家庭環境で其の中でも母に其の責任のあることを聞かされ更生保護婦人会の責任の重大さを痛感し子供教育上に大変参考になる点が多かったことを感謝致します。

罪を犯した少年も殺風景な鉄窓に入れられながらも忘るゝことの出来ないのは母のことだと云うことは獄中で作ったうたによっても知られます。

呼びたくても呼ぶことならず硝子戸に息吹きふきかけ母と書くなり。

訪問者保護司四名更生保護婦人会員四十三名。



火の用心

ちよっと待って!!　もう一度見よ
うたき火あと

山林火災の最も多い時期です。皆さんのほんのわずかの心のゆるみから恐ろしい山火事が起ります。マッチやたばこの火に充分気をつけましょう。

林務課

方城の夜明け　(6) 其の一

方城中学　植田辰生

穴ケ谷古墳（迫）

弥生式時代に栄えていたと思われる伊方台地の住居跡並びに石棺郡更に宝珠台地の石棺群等その殆んどが彦山川に面した高台にある。この時代には大陸から新しい農耕技術が伝来し今まで狩り食糧は豊かになりしかも貯蔵され新しい農具の発明と相俟って生活の水準も次第に向上し始めた。その結果生活も安定しそこがやがて集落の発達を促し今まで限られていた人口は急速に増加し初めたのである。

この現象に伴い、今まで宝珠台地で生活していた人々は坊ケ鶴の低湿地を開拓した。更にその一部が下流の天神ケ森を下り広々とした一大低湿地々帯に取り組んで農耕を行い、迫集落を築き上げたものか或は対岸の井土よりの集団移動して来たものかは明らかでないが遺跡や遺物の上から考察すると宝珠集落から迫集落に発展して行ったのではないかと推定される。何故なれば迫附近は彦山川と中元寺川の交流する地点にあり両川の流れの本流は迫の穴ケ谷に向っている。従って一度び大雨や暴風になると明神ケ森から赤池の井土市場迫一帯は忽ちにして一大沼湖となったと思われる。しかもその本流に抗して水田耕作を維持して行くことはその当時の生活では困難ではなかったと思われるからである。ちなみに「迫」の地名について調べてみると「ちかづく」「くるしむ」「迫り苦しむ」等々の意味があるが今と異り大昔は相当困難して開拓されたものと考えられる。現在まで宝珠には弥生式時代の土器や石斧石槍が数多く発掘発見されその外にも石棺鏡等もあるがまだ古墳時代の祝部式土器は発見されていない。しかし迫にはこの古墳時代の特色とする石棺から祝部式土器や当時の人々が身につけていた装飾品等が発見されている。昭和二十八年礦害復旧のため立花組「立花富雄氏」が穴ケ谷の丘陵の粘土を採取中穴ケ谷古墳「迫古墳」を発見した。

この古墳は今からおよそ千七百年前「西歴二五〇から六五〇」で古墳時代とも呼ばれているこの時代の後期であってその時の出土品は殆んど方城小学校に寄贈されている。古墳とは古い墓のことである。しかし大古の墓は仏教とは関係なく祖先を崇拝するという心仰さを高く盛って作ったものであった。従って高塚とも呼ばれている。当時の風習として身分の高い者は死んでから神としてあがめられた。神は低い平地は穢れているので森や丘の小山を住居とする。それと同じように下の人々から仰いで見るような丘や小山が身分の高い者が死んで葬られる場所と考えていたようである。そして塚にもいろいろの種類があった①円墳この塚は円形で地上に饅頭かお椀を伏せたように見うけられるもので直径数米から数十米まで色々とある②前方後円墳これはひょうたんに似て一方が円形になっており丸い方が主で四角い方が前についているもので有名な仁徳天皇の御陵がこれである。日本独特で世界一である③方墳下が方形で上が円形つまり上円下方墳（方基円形）とよばれるものがあります。❶❷の二つは日本では古くそして数も多いが❸はあまり古くなく数も少い有名な奈良の石舞台は方墳で又明治天皇大正天皇の御陵も方墳と云われている。

（次号に次く）